



日本拳法部

■ 1991年(平成3年)公認

部員数

30名



部長
柿沼陽平
文学学術院
教授

御卒業おめでとうございます。学業・部活動・プライベートの各面で活躍されたことと思います。無事に社会に旅立られることを嬉しく感じています。皆さんの前途洋々たる未来を祈念いたします。



監督
篠田隆矢

4年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。東日本団体三冠や東日本学生個人優勝など、輝かしい戦績を残されたことは素晴らしい功績です。しかし、何よりも称えたいのは、その結果に至るまでのプロセスを大切に、日々の練習に真摯に取り組んできた姿勢です。皆さんはまさに、学生の模範となる代だったと思います。

日本拳法部で培った、物事に正面から向き合う姿勢は、社会人になってからも必ず皆さんの力となるでしょう。どうか小さくまとまることなく、全力で社会人としての人生を歩んでください。

人生は一度きりです。「笑う門には福来る」の精神で、明るく前向きに、充実した人生を楽しんでください。



主将
藤原圭希
法学部
城北

入部してからたくさんの方々に支えてもらいながらも鍛錬を続け、4年生では主将として日本拳法部を率いたこの経験は、私にとって何物にも代え難い財産です。目標達成に向け、チーム一丸となって困難に挑んだ日々。その過程で得た学びと仲間との信頼関係こそが、学生生活最大の成果です。日本拳法部で培った不撓不屈の精神を胸に、卒業後は社会の発展に寄与すべく、新たな舞台で挑戦を続ける所存です。お世話になった全ての皆様に感謝を申し上げますと共に、部の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。



主務
中村陽和
政治経済学部
早稲田本庄

入部からの3年間、マネージャー・選手・主務と、さまざまな立場を経験させていただきました。立場が変わるたびに見える景色も異なり、部活動は本当に多くの人々の協力と想いによって成り立っているのだと実感しました。そして、仲間を信じて頼ることで、自分ひとりでは成し遂げられなかったことも実現できるのだと気付きました。マネージャーとして支える喜び、選手として挑戦する楽しさ、主務としてチームを動かす責任を学んだこの3年間は、私にとってかけがえのない財産です。あたたかくご指導くださった監督・コーチやOB・OGの方々、共に戦った部員、これまで支えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。



本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

◇東日本総合個人選手権 (7月13日) 級の部

- ▷近藤零音(創造理工、3年)第3位
 - ▷大場康生(国教、3年)2回戦敗退
 - ▷中西崇仁(国教、4年)1回戦敗退
 - ▷野口友輔(社会学、3年)1回戦敗退
 - ▷近藤友樹(商、2年)1回戦敗退
 - ▷吉田昂矢(文、1年)1回戦敗退
- 段の部
- ▷重松猛(人科、4年)ベスト8
 - ▷藤原圭希(法、4年)1回戦敗退
 - ▷井澤高斗(法、3年)1回戦敗退
 - ▷寺内優貴(文、3年)1回戦敗退

女子の部

- ▷井上晴未(政経、4年)優勝
- ▷中村陽和(政経、4年)第3位
- ▷鎌田琴未(スボ科、4年)第3位
- ▷星野奈穂(スボ科、3年)ベスト8

◇日本拳法第36回東日本大学選手権大会開催要項

(10月12日)

形の部

- ▷二人型 鎌田琴未(スボ科、4年)
- 星野奈穂(スボ科、3年)第4位
- ▷二人型 平井咲希(社会科学、2年)
- 日下彩叶子(政経、1年)予選敗退

女子の部

- ▷1回戦 早稲田A 対 国士舘大学 ○(2勝1敗)
- ▷2回戦 早稲田A 対 青山学院大学 ●(1勝2敗)
- ▷3位決定戦 早稲田A 対 学連選抜 ○(2勝1敗)第3位
- ▷1回戦 早稲田B 対 学連選抜 ●(0勝3敗)1回戦敗退

男子の部

- ▷対 立教大学 ●(3勝4敗)1回戦敗退

◇第44回全日本学生拳法個人選手権大会 (10月26日)

男子の部

- ▷重松猛(人科、4年)4回戦敗退
- ▷近藤零音(創造理工、3年)1回戦敗退
- ▷田中芳和(教育、3年)2回戦敗退
- ▷寺内優貴(文、3年)1回戦敗退

女子の部

- ▷井上晴未(政経、4年)3回戦敗退
- ▷中村陽和(政経、4年)1回戦敗退
- ▷鎌田琴未(スボ科、4年)2回戦敗退
- ▷星野奈穂(スボ科、3年)2回戦敗退

◇2025 日本拳法東日本総合団体選手権大会 (11月16日)

新人戦

- ▷対 国士舘大学 ●(0勝4敗1分)1回戦敗退

女子の部

- ▷1回戦 早稲田A 対 東洋大学 ○(3勝0敗)

- ▷2回戦 早稲田A 対 青山学院大学A ○(1勝1敗1分 代表者戦勝ち)

- ▷決勝 早稲田A 対 中央大学 ○(2勝1敗)優勝

- ▷1回戦 早稲田B 対 国士舘大学 ○(1勝1敗1分 代表者戦勝ち)

- ▷2回戦 早稲田B 対 中央大学 ●(0勝3敗)2回戦敗退

◇第44回早慶定期戦 (11月29日)

男子トーナメント戦

- ▷野口友輔(社会学、3年)優勝
- ▷近藤零音(創造理工、3年)第2位
- ▷大場康生(国教、3年)2回戦敗退
- ▷近藤友樹(商、2年)1回戦敗退
- ▷岡田将大(国教、1年)3回戦敗退
- ▷曾我部颯斗(教育、1年)2回戦敗退
- ▷松村望来(国教、1年)2回戦敗退
- ▷吉田昂矢(文構、1年)2回戦敗退
- ▷武居陸(国教、1年)準決勝敗退
- ▷小林徹平(商、1年)2回戦敗退

女子の部

- ▷早稲田A 優勝

男子の部

- ▷準優勝

